

1904	明治37年	江並の資産家、森房造氏と楠健太郎氏が出資者となり、岡山市の発明家山羽虎夫氏が製作した国産初の自動車が5月7日に天瀬の工場から三幡港まで走行した。
1910	明治43年	宇野線の開通により四国への輸送は宇野へ移る（三幡港が衰退）
1915	大正4年	三幡軽便鉄道(株)が設立され、開通。（昭和6年まで）
1923	大正12年	村内に初めて電灯がついた。
1933	昭和8年	幼稚園（後の操南幼）が開園される。内山コルクが門田から江並に移転建設される。
1936	昭和11年	中国合同電気（後の中国電力三幡発電所）運転開始。当時としては東洋一の設備能力を誇る。当時三幡地区には水道設備がなく、高島の井戸水と京橋から来る水船に頼っていた。それだけに操山水源地から引いた発電所の水道管から分離して村内7ヶ所に共同栓が設けられ、村民は初めて水道水飲めるようになり、大変喜んだという。
1945	昭和20年	6月29日、岡山大空襲（（死者1,725人）操南小学校は本館棟3棟を焼失する。
1946	昭和21年	12月21日未明、南海大地震（震度6）により、村内各家屋の被害甚だしく、半壊はもとより全壊した建物もあった。（県内死者52名）
1947	昭和22年	操南中学校設立される。
1949	昭和24年	藤崎（操南小学校前）に巡査駐在所が新築され、三幡港より移転した。四番川の海岸に旭東排水機場が竣工。
1950	昭和25年	江並の萩原孝男氏が日本水上選手権 200mバタフライで日本新記録をだし優勝。（この頃フジヤマのトビウオと呼ばれた古橋や橋爪と同じ日大水泳部に在籍）
1952	昭和27年	3月、上道郡三幡村・沖田村・操陽村が岡山市に編入される。各家庭に上水道が設置される。
1953	昭和28年	三幡競馬場が完成。9月に第一回競馬が開催される。（昭和32年まで）2月にNHKがテレビ放送を開始。池田動物園が開園。美空ひばりが戦災孤児らが保護されていた平井の「少年の丘」成徳学校を訪れキャラメルを配って子どもたちを励ます。
1954	昭和29年	児島湾にマッコウ鯨が現れ人々を驚かせた。
1957	昭和32年	ホッピング流行。NHK岡山放送局がテレビ放送開始。
1958	昭和33年	フラフープ（280円）大流行。1万円札お目見え。
1959	昭和34年	4月10日、皇太子・美智子様ご成婚。岡山駅地下オープン。児島湖締め切り堤防が完成。